

医薬品副作用・感染症症例票

識別番号	C02-9348	2003年3月25日											
区分	副作用	登録番号	C02-4811	2003年2月3日	情報入手日	2003年1月22日	同一症例番号		年月日	死・感・重・先・療・改・OTC			
患者略名	2	入院・外来:	外来	職業:	不明	使用理由	原疾患には下線 合併症には()	無	無	(厚生労働省処理欄)			
T.S.	男性	年齢	2	職業	不明	経路	S PO	1日量	65mg	開始	2003/1/13	終了	2003/1/15
販売名	シンメトレル細粒 (日本チバガイギー)	一般名	塩酸アマンタジン	S・O									
販(企業名)													
主治既往歴・患者の体質等:	無												
血中クレアチン・ホスホキナーゼ増加、浮動性めまい	血中クレアチン・ホスホキナーゼ増加、浮動性めまい												
副作用・感染症名	副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過												
年月日	発熱あり (38~39℃台)。 40℃以上へ上昇し近医受診。インフルエンザAと診断され、シンメトレル65mgを分2で処方され帰宅した。帰宅後、夕に1回内服した。0時から9時の間に嘔吐4回あり。8時過ぎにシンメトレル内服したが、直後に嘔吐が見ていたため、11:30に再度内服した。その後、様子をみていたところ、昼には38℃台へ低下し、19時には36℃台へ解熱した。元気が出てきたが、立つと痛み、歩行できず。患児も「歩けない」と啼泣あり。 (起立時の痛み、開脚時の痛みふらつき、歩行困難出現) テレビを見ていたが、ボーンとしていていることが多く、再度近医を受診。採血にて、CK 217と上昇。ふらつきも認め、同日夕からのシンメトレルの内服は中止した。 CK 91。(当院へ入院) 起立時、開脚時の痛みは消失。つかまり立ち可。 CKは47に回復した。ふらつきあるが、歩行可。 ふらつき消失。 退院。												
年月日	2003/1/12 2003/1/13 2003/1/14 2003/1/15 2003/1/16 2003/1/17 2003/1/20 2003/1/22 2003/1/23												
再投与:	無												
その他の治療:	無												
転帰:	軽 (2003年1月23日)												